

# 登録有形文化財宮城野納豆製造所で 工場見学と講演の会を開催しました

参加呼びかけチラシ↓

この催しは阿部和建築文化研究所と「宮城野原案内人の会」との共催で、毎年この時期におこなっています。登録有形文化財になっている納豆製造工場群の見学は市民の皆さんの興味をそそるようで、電話申し込みの対応をした宮城野案内人の会の山田会長は満員の為お断りするのに心苦しい思いをなさったそうです。

2025年2月28日は、晴天に恵まれて、定員20名を遥かに超える29名の方々が参加しました。

会場となった宮城野納豆製造所敷地内に建つ、フリーレンタルスペース「となりのえんがわ」は(株)阿部和工務店が高断熱高気密改修工事に携わっており、みなさんの熱気で開催前から暖房を停止、換気扇フル回転で対応するほどでした。

安井妙子が、プロジェクターを使って分かりやすく工場建築の成立ちや木製トラス構造の説明をしました。三代目社長三浦晴美氏の語る、初代社長で「近代納豆の父」と称される祖父三浦二郎氏のエピソードなどに熱心に耳を傾けてくださり、複数の質問が飛び交いました。其の後、工場敷地内に建つ登録文化財建造物の外観や内部の見学に移りました。今回は河北新報の記者の方が同行しており、早くも翌日3月1日の朝刊に記事を書かせていただきました。

アンケートには「楽しかった」との言葉がたくさん記されており、共催した、宮城野案内人の会の山田孝子会長は「盛況裡に終えて苦勞が報われ、エネルギーが湧いてきた」そうです。これからのさらなる活動に期待いたします。

文責：主幹研究員安井妙子

## 登録有形文化財 宮城野納豆製造所



### 見学会 to 交流会



大正九年(1920)半澤式納豆製造法を習得して創業すること105年を数える有限会社宮城野納豆製造所は、昭和10年(1935)に銀杏町に工場を構え、大々的に操業を始めました。工場内の建物群は、おおむね昭和10年当時の物で、国の登録有形文化財に登録されています。

建物群の文化財登録に尽力した、阿部和建築文化研究所主幹研究員で一級建築士の安井妙子氏、三代目社長の三浦晴美氏との講話をもとに、皆様との交流会を開催します。

会場のフリースペース「となりのえんがわ」は工場内の倉庫であった建物を元通りの場所で断熱気密改修した物です。工場の見学と共に暖かい部屋での交流会をお楽しみください。

|      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 開催日  | 2025年2月28日 金曜日                  |
| 開催時間 | 10:00~11:40 (10分前までに集合ください)     |
| 集合場所 | 宮城野区文化センター内のロビー<br>現地まで徒歩にて移動3分 |
| 申し込み | 電話のみにてお受けします                    |
| 定員   | 先着20名様                          |
| 参加費  | 300円 資料代、保険代として                 |

共催 宮城野原案内人の会  阿部和建築文化研究所